



未来を切り開け！
介護新時代



学食カフェ café2910

詳細は裏面→

もっと自由に、
もっと柔軟に！
たっぷくが新しく
生まれ変わりました。
敷地内に新しい学校の
魅力の一つとして、
学食カフェが建設されました。
おしゃれなカフェとして学生に大好評。
一般の方もご利用していただいています。

学食カフェ Café2910オープン！

入学式と同日、たっぷくの新しい魅力のひとつとして建設された学食カフェのオープニングセレブションを行いました。バルーンリリースを行い、栄養満点のランチを皆様に味わっていただきました。

成章生とコラボしました！



地元成章高校とのコラボ企画が実現しました。NYカフェスタイルにぴったりのエプロンのデザイン・作製と、季節のスイーツを考案してくれています。ショーケースにて期間限定で販売しています。



荒川先生
ありがとうございました！

陶芸の荒川先生から、学食カフェに手作りの器を贈呈していただきました。たっぷくに来た際には、カフェで和スイーツを注文してみてください。荒川先生、心のこもった素敵な器をありがとうございました。



地域の人や卒業生にも
愛されるカフェを目指して

学食カフェでは各種日替わりランチメニューとパスタ、オリジナルのたっぷくカレーがあり、テイクアウトも可能です。カフェタイムには、インスタ映えるスイーツやさまざまなドリンクメニューをお楽しみいただけます。また、15時から、お総菜販売も行っています。学生、地域の皆様、そしてたっぷく卒業生の憩いの場としても愛されるよう、おしゃれで美味しく居心地の良いカフェを目指していきます！

退任・転出職員



専任教員
山田 紗由美

多くの学びや出会いがあり、学生とともに成長させていただいた3年間でした。ありがとうございました。



事務員
渡邊 康統

今は市役所勤務ですが、週5日学校で仕事しています。この機会に是非お腹ぼっこりおじさんに会いに来てね。

表紙のロゴは、福祉文化活動の書道 前田和宏先生の書をアレンジしました。

目指せ登録 200人 /

たっぷく同窓生 LINE

たっぷく同窓会 LINEオープンチャットを開設しています。ぜひ登録を!!

登録氏名は「〇期生XX(略称可)」



教職員紹介

今回は
MYブーム

田原福祉グローバル専門学校の教職員を紹介します。
今回はMYブームについて50字で聞いてみました。



校長 石川 祐子
愛犬「リキ」にぞっこん!!保護犬をもらって半年。今ではもう「リキ」のいない生活は考えられません。

事務長 彦坂 英美

話題のジョッキ缶!泡の出方が毎回違い、吹きこぼれる失敗の繰り返し。ベストな泡が出せるまでチャレンジ。



教務主任 近藤 博行
「マイブーム」とは違いますが、最近ハマっているのは、お菓子の「ビスコ」です。子供の頃を思い出します。

専任教員 河合 生恵

好きなYouTuberさんが、スペインから美しい景色の中で配信してくれるのを見て楽しむのが好きです。



専任教員 上村 育代
コロナ禍の気分転換のために始めた切り絵と折り紙が、今では趣味となって季節を感じる作品を作っています。

専任教員 鈴木 隆弘

スパイスカレー作りにはまっています。ターメリック、クミン、コリアンダーで簡単に作れます。お勧めです。



事務員 古田 晶子
挫折したリングフィットに再チャレンジ中です。リングフィット後に、たらふくお酒を飲むのが生きがいです!

事務員 山本 貴士

ワンピースを1話からイッキ見しています。1ヶ月頑張って300話見ましたが残りは500話。眠れません。



事務員 鈴木 朋子
メダカを育てています。今年も可愛いベビーがたくさん誕生しました。眺めているだけで気持ちが癒されます。

田原福祉グローバル専門学校の開校式及び入学式が行われました。開

開校式・令和3年度入学式

4/3

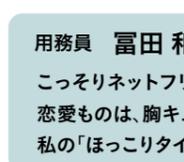
あいさつが述べられました。また、これまで学校の発展に貢献いただいた団体や個人への感謝状の贈呈が行われました。
屋外に会場を移し、福寿園山田理事長及び古田常務理事による田原福祉グローバル専門学校銘板の除幕式が行われ、新生「たっぶく」の門出を皆様と一緒に祝いました。



校式では山田理事長から「新たな時代を担う介護福祉士を養成する」と開校宣言がなされました。2年生20人を代表して野口嘉来さんが「新たな学校で誇りを持って学びたい」とあいさつしました。続いて入学式では、石川校長が新入生34人への入学を許可し「一人ひとりの生きるを支える介護福祉士に」と訓示がありました。新入生を代表して鈴木伸乃香さんが「高い自覚と誇りを持ち、介護福祉士の知識と技術の習得に精進します」と誓いの言葉を述べました。



事務員 荻谷 愛美
旅行系YouTubeを見ること。なかなか出掛けられないので、旅行に行ったつもりで気分転換しています。



事務員 富田 和子
こっそりネットフリックスを見ること。恋愛ものは、胸キュンでたまりません。私の「ほっこりタイム」です。

閉校記念展

3/17
3/30

田原福祉専門学校では閉校記念展



が行われました。
玄関には、ウエルカムボードが設置され学内には大風・神輿を展示。教職員の手作りで準備したフォトスポットや巨大な年表が来校者をお出迎えました。
同窓生や元教職員など142人がたっぶくに訪れ、思い出話に花を咲かせていました。
また、同窓会から来場者への記念

閉校移管記念式典

3/30

田原市から社会福祉法人福寿園に学校運営を移管するため閉校移管記



品して、オリジナルマスクを配布しました。

念式典が行われました。記念式典では、設置者山下田原市長から学校の歴史とこれまでの実績に触れながら「民間の柔軟な発想とスピード感のある実行力に期待しています。」と



TAPPKU 学校 NEWS



会長あいさつ
西野 優子

「たっぶく」新章のはじまり

新たな「たっぶく」新章の始まりとして、最初の同窓会会長に任命されました西野です。第一期生として卒業後、田原の地で介護事業に従事し、地域で独立型居宅を立ち上げて十年がたとうとしています。卒業時まで20代だった小娘の私は、ご利用者様に人生の基礎を教えていただき、先輩方にはこの仕事の意義を教えていただきました。

おかげで、今ではすっかり立派な「おかんケアマネ」に成長しました。たくさんの先人が教えてくださったものを後輩に伝えていく使命を果たしていきたいと思っています。

「コロナ禍」という言葉が浸透してしまっている今、介護に携わることは命に係わることであるということを痛感する瞬間が増えていると思います。携わる方のほとんどは重篤化のリスクが高いため、プライベートでも介護職員という意識を持ち続けるが故に、窮屈な生活を送っていることと思います。

私がたっぶくに入学した当時は、介護職員の地位向上は先輩方の悲願でした。現在は、エッセンシャルワーカー(生活必須職従事者)の代表職として必要とされる職種となりました。先輩方が築いてくださった信頼を繋ぎ、これからの後輩たちへ大きな期待をしています。

卒業生として、介護のプロフェッショナルと胸を張って仕事に向き合っていくために、悩みや迷いがあったときに、戻れる場所(たっぶく)があることの幸せを忘れないでください。